学びと成長にあふれる、リオ日学!

① NIEで磨かれた文章力



毎週金曜日、中学生はNIE (Newspaper In Education) の宿題があります。教師が読売 新聞記事(時事や中学生に相応 しい内容)の要約と感想を書き、 子どもは「記事・要約・感想」 を読んだ後に、自分の意見を書 いて月曜日に提出します。教師 のコメントが書かれたものを掲 示して、お互いに読み合います。 *新聞記事は日本に住む校長の

妻が中学生に合わせて選んで切り抜き、データを 送信してもらいます。読売新聞リオ支局長大月様 にもご案内しています。以下、これまで2年間の 活動を通した中学生の感想です。

菜南子=NIEは自由に自分の考えが書けるから好き だ。あと、先生のコメントを毎回楽しみにしてい る。世界で起きていることや人の考え方を基に、 自分の思考を広げてくれ、考えるきっかけにもな る。そして、先生や友達に自分を知ってもらえる。 自分の経験などを振り返って書く時はシャーペン が止まってくれない。

瑛人=NIEを通して書く力が上がった。何か感想を 書く時、テーマを見たり記事を読んだだけですぐに、このように書こうと、頭の中で文章が構成さ れていく。NIEを長く続けたからだ。

彗人=NIEを通して考えが深まり、自然に自分の意 見が持てるようになった。最近ニュースを見て、 なぜ?という疑問が増え、自分で調べたり親に聞いたりする。そのことが楽しい。そして意見を持 つためにはいろいろな視点を持つことが重要なの で、被害者・加害者・他人など、その立場に立っ て考えてみることもできるようになった。そうし ていくと、相手を思いやることもできるようにな った。

② 割り箸書画の世界



中学生技家の授業で、 割り箸書画に取り組み ました。

秋田県を拠点に活動 されている齊藤光子さ んは、東日本大震災復 興に割り箸書画を通し て、被災された方々の 心を癒し、表現するこ とが自己開示となって、 頑張ってみようと言 気持ちになります。

齊藤さんは私たちの 作品について評してく ださり、アドラー心理 学会の発表にも活用し、

分析結果を伝えてくださいます。

今回は、新しい1年に託す想いを言葉にして、 割り箸書画で表現してみました。「努力の分だけ花 が咲く」=受験のための色濃い努力によって乗り 越えた先の花を見たい。「夢なき者に成功なし」= 夢を大きく、成功につなげ、これを念頭に生活す る。「明日はやがて今日になる」=「また明日と後 回しにすることが、明日もやらないことになる」 との父の言葉は受験を終えてその通りだと思った。 今日を変えないと明日は来ない、この言葉を胸に、 今日の自分を変えていきたい。

4月からの生活が楽しみになってきました。

③ 環境は私たちが守ります!





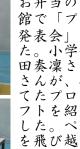
総合的な学習の時間に ブラジル・ の保全について学び、各家庭で私たちのできる ことを実践して、その発表会を行いました。

エアコンを使わず保冷剤で頭を冷やしてみ 、シャワーの出しっぱなしをしない、植物を 窓際で育てた、紙の無駄遣いをせず裏紙を使う など、意欲的な活動を話してくれました。

仲間たちの活動から学ぶことがいっぱいあり ました。

④ プログラミングの世界を紹介

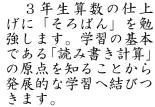




3月12日(水)、 お弁当の時間に、体育 館で「プログラミング 発表会」を開催しまし た。小学部6年生の下 田奏凜さん・中野成寛 さんが、授業で組み立 てたプログラミングソ フトを紹介してくれま した。ペンギンが氷山 を飛び越えるゲーム、 ピッチャーとバッター のゲームなど、工夫が 凝らされ、次代の最先 端を発表してくれまし た。

⑤ 教室から笑顔がいっぱい







2年生の国語は、物 語の感想について他者 の意見を聞くことから 客観的な読解力が身に 着きます。サンホセ日 本人学校とオンライン 学習により、意見交換 をして、考え方が深ま りました。



小学部 4 年生以上英 語の時間に、ニューヨ ークを拠点にダンス活 動をしている中澤利彦 さんが学校訪問で参加 し、英語の自己紹介と ダンスパフォーマンス を披露してくださいま した。

リオ日学は、学びと成長にあふれ、子どもた ちが生き生きと学ぶ姿が楽しみです。